

京都中小企業家同友会 青年部会

You-Joint

SEASON 2012・Winter

青年経営者全国交流会・臨時号

中小企業家同友会 青年経営者全国交流会 in 島根
に参加された方々の感想文です。

報告者・小山和幸さん、座長・高島誠さん、実行委員長を勤められた田中大介さん、参加された皆様の熱い感想を臨時 You-Joint にてご覧下さい。

有限会社ファンシステム 小山和幸

『感謝します!』の言葉を今までの人生で幾度となく使いましたが、今回の青全交で、この言葉の持つ本当の意味を知った様に思います。当日の懇親会でも言いましたが、「同友会」よりも「青年部会」よりも『皆さんがいる会』に入って良かったと心から思います。此度の経験は私にとって一生の宝物になりました。実行委員長をはじめ実行委員会の皆様! 当日ご参加戴きました皆様! G長で盛り上げて下さった皆様! そして様々な形で応援してくれた全ての皆様に、心より『感謝します!』

株式会社京富士印刷 高島 誠

座長をしていただきました高島です。
青全交中、前のりから延泊まで、非常に濃い4日間で、経営者そのものを深く考える事が出来、そしてとても素晴らしいものを頂きました。実行委員会発足から約半年。練りに練った小山さんの報告も好きでしたし、何よりも嬉しかったのは、京都の皆さんの満面の笑顔でのお疲れという言葉でした。終わってみればくせになる楽しさでしたね。これだからやめられない。・・・青全交サイコー! ありがとうございます。

株式会社田中電機製作所 田中大介

青全交に初めて参加する事になり、感想として平日の2日間と高い会費で参加にはなかなかハードルが高いですが、ここにはそれを十分に超えられる価値があると気付かされました。5月から9月にかけて8回も実行委員会を開き忙しい中集まって頂いたメンバーと委員長でなかったら今年も参加していなかったと思うので今回の機会を与えてくださった皆様に感謝申し上げます。最後にまだ参加していない青年部の皆様来年は是非参加下さい。

株式会社トリイ 鳥居浩樹

今回、第5分科会は京都の青年部会員である小山さん・高島さんが報告者・座長という大役のなか、当日の最高のパフォーマンスをみて、同じ京都のメンバーとして誇らしく思うことができました。そして、全国から学びの意識の高い青年経営者たちとグループ討論することができ、学び深いものとなりました。たくさんの気づき・学びのなかで今回の青全交が意識をかえるきっかけとなり、気づき方・学び方の視野を拓けていきたいです。

株式会社エクセル 吉田 稔

全国行事には良く参加させて頂くのですが、今回の島根では小山さんのご報告、分科会報告や他府県の方との交流を通じて沢山の気づきと学びを頂き、仕事から会場の設えや運営なども大変勉強になり参加をして色々な刺激を持って帰る事が出来ました。延泊では部会員の方とより多くの時間を共有することができ、京都以外を肌で感じる事の大切さを再確認できたと思います。なかなか少ない文面にまとめることは難しいですが、何ごとにも行動しないと得れない事が多いですね。年々参加するほど刺激を頂いており、自分の為になるのに気付かされています。また来年も参加したいと思います。

株式会社タザワ電気 田沢 直

良かった! とにかく良かった!! 小山さんの報告しかり、高島さんの座長、とても素晴らしかった。報告の内容、魅せ方どれも取っても最高でしたし、グループ討論も盛り上がりました。やはり色々な人と出会い、想いを酌み交わし、色々な考えを学び伝える。青全交の魅力は参加しないと伝えきれないと再認識しました。次回はもっともっとたくさんのメンバーと参加したいと思いました!!

京都エレベータ株式会社 八上 崇

今回の青全交は今まで参加してきましたものと全く違うのもでした。京都が分科会を受け持ち、その実行委員として取り組んだからです。小山氏の報告を毎回聞くたびに小山氏の魅力に引き寄せられ、報告を重ねるたびにパワーアップする小山氏を羨ましくも思いました。当日は、広報委員としての役割で撮影に回っていましたが、カメラ越しに報告を聞き、参加して頂いている皆様を見ていますと、皆様がどんどん話しに引き込まれていくのを見ており感動を致しました。そして座長の高島氏のまとめにも更に感動をしました。実行委員として取り組んで、とても有意義な青全交となり本当に良かったと思っています。ありがとうございました。来年も必ず参加するぞ!!



株式会社建友会ホームドクター 岡本幸博

先日、10月4日・5日と島根にて開催されました、第40回青年経営者全国交流会に参加して参りました。今回4回目の参加という事もあり前回までと少し違った視点で捉えられた気がしました。全国47都道府県の同友会から若き志を持たれた方が一堂に会する。その中で様々な意見交換・討議が熱く行われる様に触れながら「京都」という枠を超え、これからの経済を自社が担っていくんだ！その為には今、沢山の志高き人と出会い自らを優れた経営者として高めていかないと強靱な企業が作れない！！という強い信念を皆さんから受け取り、この想いを自己発信していかなければならないと感じさせてくださいと同時に、こんな時代だからこそ中小企業個々で物事を捉えず運動体組織としての活動が求められている、その環境こそが同友会なのだと同様実感させていただきました。それと今回の青全交で私自身悩んでいた、次世代を担う若者達（20代）との心の共有に向けた糸口を見つける事が出来ました。「人と人」の関係が希薄になってくるであろうこの時代に、諦める事なく人間関係の構築に邁進していこう！！と背中を押していただけた気がします。

また、昨年同様我々の同志である小山和幸さんに京都代表としてご登壇いただき、素晴らしいご報告をしていただきました。仲間である事に感謝と誇りを感じさせていただきました。

ただ一つ、個人的に残念な事は京都同友会から代表・副代表が一人もご参加いただけなかった事です。ご多忙とは重々理解しておりますが、非常に寂しく感じました。

来年 東京で開催されます第41回青年経営者全国交流会も多くの同志と共に参加したいと思っております。

有限会社京四季庵 澤村悦玄

まずは200名の島根同友会で1000名近くの受け入れをされたことに敬意と感謝を表したい思います。10月は全国の神様が島根に集まり唯一この県にのみ神様がいらっしゃる時です。その時に私達も集えることは、それだけでも「縁創造」のスローガンを実感させる物でした。さて分科会ではそれぞれに応じた学びがあったと思います。私の参加した京都設営の分科会でも報告もG討論も充実しており、狙い以上の学びを持って帰って頂いたと自負できる内容でした。これは京都だけの手柄では無く、参加者の意識の高さが成せる業と感じました。担い手と学び手が共に作り上げる分科会は、まさに言葉どおりです。この度の青全交での自身の学びの特徴を2つに集約しました。一つ目は大多数の「なかま」です。今回の全国大会に限った事ではありませんが、全国にこれだけの青年経営者がいて同友会3つの目的を目指し経営していることを実感出来るだけでも大変貴重な経験です。お互いに限られた枠の中での刺激だけではなく、全国の多くの仲間と刺激し合えることは内から力が湧いてきます。やる気や元気はさることながら、経営理念や経営戦略の再構築を考えさせるきっかけにもなります。また分科会だけでなく会全体からの雰囲気でも穴から入るような学びは青全交の大きな特徴と言えます。もうひとつの大きな学びの要素は少数の「なかま」です。京都から行く道中や帰り道にお互いの経営の内容や会社の雰囲気、または家庭でのプライベートな面まで垣間見るのは親しい仲間と言えども希です。こう言った特殊な環境でのみ可能な個別のG討論と言えるものは心に深く入ってくる学びです。双方共に「なかま」を挙げたのは、幾ら学ぶ環境下にあっても「なかま」無しでは成就し得ない物を実感したからです。それは「経営を通じての素晴らしい人生」これに尽きる青全交だったと締めくくります。

株式会社広告の朝日企画 吉村和紀

10月4日、島根県にて青年経営者全国交流会が開催されました。茨城同友会員の技研プロセス(有)・専務取締役宮本勇気氏が、テーマ「付加価値を高める」～自己破産の危機を乗り越えて～ に付いてのご報告を頂きました。

借金ばかりが増え2000年、父親から「自己破産することにした」と告げられ、宮本氏は「もう少しやらせてくれ」と訴えました。会社口座にある残金2000万円。毎月200万円の返済。売上がほとんど無い中、新技術開発に成功し、結果できたのが、それまで困難といわれていたアルミへのシリコン塗装でした。(国内でアルミへのシリコン塗装が出来る会社は技研プロセスのみです。)現在、食品メーカーのパンを焼くアルミ箔にシリコン塗装が使用され、急激に売上が上がっていること。

自己破産の危機を乗り越えたのは宮本氏の常識にとらわれない、人と違ったことを考える事と何より塗装の仕事が大好きな心でした。

山田兼一郎税理士事務所 山田晃士

～印象的だった言葉あれこれ～

『VIP待遇、ありがとうございますっ！』

(注)寝坊して集合時間に間に合わなかったY氏を、結局自宅近くまで貸切バスが迎えに行く事となり、バスに乗り込むや否やY氏が照れ隠しに発した捨て身のギャグ。

『報告中、二回泣いた。』

(注)京都分科会の小山氏の報告を聞いた、人見氏の感想。

『“選ばれし”フライト・アテンダントの皆様を安全、快適に目的地へお連れ致します。』

(注)あるフライトでのJALの機長の機内アナウンス。この言葉に新生JALの萌芽を感じたという島根銀行の役員が、懇親会の乾杯発声のスピーチにおいて、次世代を担う青年経営者たちへのエールとしてこの名アナウンスを紹介した。

『ユッキーが言いたかったことはこれなんやって、わかったんです!!!』

(注)京都メンバーだけの二次会で、座長の高嶋氏が声高らかに発した言葉。小山氏の報告の核心めいたものを、座長として自分なりにつかめた瞬間があったという文脈において。

『田沢さんからお預かりしたこのピカピカに磨かれたものを、次の報告者へとお渡ししたいと思います。』

(注)京都メンバーだけの二次会で、報告者の小山氏が静かに語った重みのある言葉。小山氏は京都青年部会で伝統となりつつある報告者バトンを前任の田沢さんから受継ぎ、見事にその大役を果たされた。



人見建設株式会社 人見 毅

第5分科会 人を生かす経営の実践 (有)ファンシステム 小山さんのお話を聞かせて頂き、業種・業態は違いますが、発想・考え方で業績が良くも悪くもなる。経営者の心構えの大切さを今一度教えて頂き、『人が人と人の為に・・・』気付くことの多い報告で、分科会報告では初めて目頭がアツくなりました。グループ討論では、活気があり様々な角度で発言と、学び多き時間を共有する事が出来ました。

【感謝の気持ち 表します】 やりますけんね

分科会設営を通じて京都の会員として誇りに感じ、素晴らしい仲間が身近にいる事に感謝です。翌日の記念講演・全体を通して、私自身、沢山のひととかわり本音で語り合える仲間を作ることが出来ました。青全交の良さは、分科会・懇親会・記念講演だけでなく往復の車中やその土地でしか味わえないディープな夜と、様々な場面で学び・気付きがあり、同友会で学んだ事を、私自身が常に意識し社員と本気で関わる。常に感謝の気持ちを忘れない。これらを実践し、しっかり頑張ります。

大登建設株式会社 大下智彦

親子親族間での事業継承や問題が多い中、血縁とは関係ない社員さんに次を託した方と託された方の報告でした。創業者の原田氏は、いろいろな会社の後継者問題を見ながら信頼し合える社員に社の未来を託すべきと考えられたのは55歳頃だったそうです。それから5年ほど模索し当時社内で見込みある若手5名を取締役に抜擢し、この5名に任せた結果に選ばれたのが佐藤社長との事です。もちろん追随する事ですが、その時に古参の番頭さんや職人さんが7名も離職したと言う打撃が現実に強烈に業務を圧迫しましたが、残った新メンバーの実務労働で乗り越えたとの事です。現、代表社長佐藤氏は就任して初めて知った代表の職務について今もこれからも先代原田氏の教授を受けて行くとの事です。

昨年の震災直撃も経験で相当の熱意が溢れておられました。株の移行について、創業者親族は関与せず実際に社を運営している現取締役が分担し取り持てる様、創業者が非課税の範囲で除所に行ってる等の具体的な報告もありました。

最後に、(株)伸電お二方の報告真髓は、「不動の志と変化し続ける躍進。」

この第8分科会に参加して大変よかったと感動が今でも続いております。

有限会社小都里 北村昌史

今回で3回目となる参加でしたが、京都の分科会にはなんと初参加で、京都ここにありと言わんばかりの気持ちで挑んだ結果、自分の成長(全国2回目のグループ長)もかんじられたし、なんといっても小山さんの報告が時間が経つにつれ会場をとりこにしていく様がとりはだのたつ思いでした。いつも思うのはなんでこんなに遠くにくるのか？それは大好きな仲間が真剣にガンバっているから、しかもそんな思いのひとが全国から集まってくるから面白い事はまちがいない。

ブルデンシャル生命保険株式会社 京都支社 井本大輔

今回、仕事の都合により1日目の懇親会からの参加となりましたが、全国から本当に沢山の同友会の仲間が集まり、大変な盛り上がりでした。普段から接している京都の参加者の皆様とも、宿泊での参加ならはで、じっくりとお話する事ができ、青年部会に入会して日が浅い私にとっては、皆様の事をより知る大変良い機会になりました。2日目の基調講演も、限界集落となりつつあった地元地域で事業を興され、地域への貢献と義肢という商品を通じて、社会貢献されているお話をお聞かせ頂き、また中村社長の事業に取り組む姿勢、ユーザーが必要としているものを提供する為にどうするかを真剣に考え続けておられる姿勢は大変勉強になりました。これまでの常識や、自分で勝手に限界を作り無理だと諦めるのではなく、お客様が必要とされているものを提供する為に、自分を信じ、会社や社員を信じ、また商品の可能性を純粋に信じ続けて事業を成長されておられる姿に、これからの時代に於いても事業を成長、発展させていく為の大きなヒントがあったのではないかと思います。このような全国規模での研修会は、全国の同友会の仲間との交流はもちろんのこと、普段接している京都の仲間ともより親交を深める大変良い機会になると感じました。今後も積極的にこのような会にも参加し、新しい学びを得ると共に、素晴らしい仲間との交流を深めていければと思います。

株式会社信正 信貴恵太

ぼく自身三度目の青全交への参加でした、今回は小山さんの報告を聞きに行くと言う今までとは違う重みのある、青全交でした。プライベート、同友会、仕事で関わっている、小山さんが全国の場でどのような報告をされるのか？

半分、聞き手と言うより、自分の思いも話してもらってる、一体感を感じました、あと今までに聞けなかった、たくさんのファンシステムの歴史、そして夢、自分ももっと、成長しなければというよりしっかりした思いをもって生きなければと感じた、島根青年経営者全国交流会でした。

実行委員の皆様、座長を勤められた高島さん、そして青全交に参加されたみな様おつかれさまでした。

来年は東京ですね！

